

1. 平成27年6月実施のいじめに関する保護者アンケートの結果報告

■ 標記のアンケートの集約結果を報告いたします。(平成27年8月)

1. 保護者アンケートの集約結果

(1) 27年4月から7月まで、お子さんが「いじめ」とされる行為を受けていましたか。

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
回答者数	69人	67人	78人	69人	56人	66人	405人
①あてはまる。	1人	7人	5人	6人	3人	4人	26人
②あてはまらない。	57人	55人	69人	61人	52人	60人	354人
③わからない。	11人	5人	4人	2人	1人	2人	25人

(2) 保護者の皆様からのご回答 <ご意見、ご要望、気になることや心配なこと等>

- ・時々、「たたかれた。」「蹴られた。」と話をしてくる。
- ・何もしていないのに、たたいてきたり、うそをつかれたりするのがいやと言っている。なかよしゆえに言えない、言いづらいところがあるようだ。(同様のご指摘が、複数件ありました。)
- ・日常の言葉遣いが気になる子どもが多いように思う。乱暴な言葉や友達を見下したような言葉が多く聞かれる。言葉遣いもきちんと見て、聞いて、注意等をしていただきたい。
- ・学年が上がるにつれて言葉遣いがだんだん悪くなる傾向にある。特に男子では、ゲームをしている時など、「てめえ、ぶっ殺す!」とか「死ぬ!」などの言葉をよく耳にする。他人が聞いて不愉快、不快に思う言葉遣いには注意が必要である。
- ・嫌なことを言われることがある。(同様のご指摘を、多数いただきました。)
- ・言葉で冷やかされたり、からかわれたりすることがある。(同様のご指摘を、多数いただきました。)
- ・言葉で嫌な思いをさせられた場合どうするのか、よい対応の仕方があればいいと思う。
- ・蹴られたり、パンチを時々されたりしている。している方は、いじめではなく「からかい」の延長のようにしているようだ。しかし、やられている方はいじめととらえる。この境目が難しいと感じる。
(他にも、「遊びの中ではたたいたり、蹴ったりがあるようだが、度を越すことがあり、心配である。」という趣旨のご意見が、複数件ありました。)
- ・学童を含めたいじめ防止のための教育と、学校で早期発見するための仕組みを整えてほしい。
- ・特定の子から、いつも持ち物や行動を指摘される。言い返せずにおどおどしている。
- ・特定の子とのかかわりがとても難しい。(同様のご指摘を、多数いただきました。)
- ・「まーぜーて!」と言っても「ダメ!」と言われて、仲間に入れてもらえないことがある。
- ・近頃、妹や弟に対する言葉遣いが荒くなったり、怒りながらたたいたりするようになった。
- ・いじめやその他の悩みに対応してくれるスクールカウンセラーが学校にいればいいのと思う。
- ・嫌だと言っているあだ名で呼ばれ続けている。やめてと注意してもまだ呼んでいる。
- ・ふざけている人を注意したら、嫌なことを言われたり、たたかれたりしたことがある。
- ・自分の思いのままストレートに行動してしまうことがあり、周囲とのトラブルになり、いつも同じ人が我慢している状況がある。「自分と人は違う」ことや「我慢する」ことをきちんと理解できるような道徳の時間があるといいと思う。(こうした時間の設定を希望するご指摘が、複数件ありました。)
- ・帰宅後に、コンビニに行ってガムや飴を買ってきてと言われたり、「お金が欲しい。」と要求されたことがあった。今後エスカレートしないか心配である。
- ・「ゲームを持っていないから遊ばない。」と言われることがある。
- ・周りがいじめをしていたら、自分の子も同調して(または断われず)加担してしまわないか心配だ。
- ・先生に言うことが「言いつける」ことになり、その後のいじめを恐れている。どうしたらいいのか。
- ・いじめられている対象は変わっても、いじている子は変わっていない。学年が上がって成長しても、いじめは悪いことと理解できていないのではないか。これからも心配である。
- ・なかよしだったのに、一方的に関係を切られることがある。なぜそうされるのか分からない。
- ・友達に「呪いのおまじないをかけられた。」と言っていた。等、多数のご回答をいただきました。

※スペース及び集約の関係上、文意は変えずに表現を変更しているところもあります。ご容赦ください。

(3) 6月現在の様子について

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
回答者数	69人	67人	78人	69人	56人	66人	405人
①現在いじめはない。	66人	61人	70人	62人	49人	61人	369人
②解決済みである。	1人	2人	3人	3人	4人	3人	16人
③今すぐ対応必要	1人	1人	1人	2人	1人	0人	6人
④無答	1人	3人	4人	2人	2人	2人	14人

(4) 具体的な対応について

これまでと同様に、6月実施のアンケートをもとに、②③の事案については、各学級で児童に聞き取りを行いました。特に、聞き取りの中で、新たにとらえられた事案については、該当した加害児童に指導を行いました。また、被害児童には支援を行いました。各事案に応じては、周囲からの聞き取りを加味し、概要を具体的にとらえるように努めると共に、必要な場合は、保護者の皆様にも連絡をさせていただき、解決に向けた話し合いを行いました。

7月中に、全ての事案の聞き取りを終えました。ほぼ全事案が解決していることを確認しております。

2. 平成27年6月実施の児童に対するいじめに関するアンケートの考察

1. 下学年児童（1～3年生）のアンケートの結果からの考察

- ・「いじめられている。」と回答した児童が多い結果となりました。この回答をした児童一人一人に対して各担任が聞き取りを実施しましたが、継続性がなかったり、回答した児童が特定の児童から被害を受け続けている状況にはありませんでした。
- ・望ましい対人関係を構築する素地を身に付けていく上で大切な時期です。いろいろな人との多様なかわりを必要とする段階ですので、ふさわしいコミュニケーションスキルを向上させられる指導を重ねていく必要があると考えています。

2. 上学年児童（4～6年生）のアンケートからの考察

- ・特定の児童との関係づくりや関係の維持に悩んでいる回答が多かったです。成長に合わせて、心のあり方も大きく変革していく時期です。できる限り子どもたちの日常の変化等をとらえていくことが大切だと思います。表情や言動、「振り返りノート」等を活用して、小さな変化に気付いていけるように努めて参ります。
- ・特に、悪口、誹謗・中傷等の無い生活に向けた啓発を、日常的に行っていく必要を感じています。

3. 今後に向けて

- ・被害児童は「いじめられている。」と感じているが、加害児童は「いじめている。」という意識がない傾向が、本校だけでなく広く一般的に見られるようです。「自分がされたらどう思うか。」とか「自分が言われたらどうか。」といった予測や相手を思いやる気持ちの醸成を大切にしたいと思います。
- ・子どもたちは自分の行為についてしっかり振り返ることで、今後に向けて行いを改善していくことができます。万が一、いじめをしてしまった場合については、その子の内省の時間を十分に確保するとともに、いじめを起させないための「心の律し方」について、教師と共に具体的に考えていきます。
- ・特に「言葉遣い」の荒さが目立つというご指摘を多数いただきました。「死ぬ」や「殺す」「キモい」「てめえ」といった日常使ってはならない言葉等が簡単に出てくる言語環境を是正するために、ご家庭とのご協力が不可欠と考えております。こうした言葉遣い等に関する状況なども、各学年だよりや学級だより等でお伝えして情報を共有し、その改善に向けて学校全体で指導を進めて行きたいと思っております。
- ・いじめがあった場合、学校では、被害児童、加害児童の両者から、また、場合によっては、周辺児童からの聞き取りを実施しています。そして、相互の話の整合と一致が確認できるまで事実関係についての聞き取りを繰り返して、該当児童のご家庭に確認された事実等をお知らせしております。その際は、ご家庭でも、お子さんがよりよい方向へ伸びることができるようご指導をよろしくお願いいたします。